

脳障害児の 学習相談とプログラム指導

K 学習相談室

SINCE 1986



<http://www.lc-k.org>

お子さんに十分な療育や訓練を望まれるご家族がいます。当室は1986年に臨床を開始して以来、そうしたご家族に特色ある選択肢を提供してきました。ご家族の希望や状況に配慮しながら、合理的で、無理がなく、やりがいのある「ご家族自身による働きかけ」をご相談させていただきます。

お子さんの学習(発達、機能回復)を一步でも進めることを目指しますが、働きかけを通してお子さんとご家族の生活がより明るく楽しくなることが当室の願いです。

当室の立場

学習の追求

当室は、発達や機能の回復を学習ととらえます。それが合理的で積極的なアプローチだからです。ヒトは学習を通してできないことができるようになります。親の顔を見て笑うようになることも、寝返りができるようになることも、歩いたり話したりすることも、すべて学習の結果です。傷ついた脳であっても、お子さんは日々学習しています。適切な働きかけによりできることを増やしていくことは十分期待できます。

働きかけを貫く原理は単純明快であり、運動でも言語でも「使うことで(成功して)上手になる」ということです。そのために適切な課題をお子さんの発達段階に応じて設定します。また、頭上ばしごなど独自のノウハウも用います。当室の働きかけは、運動、言語、認知、社会性など、すべての領域でお子さんの学習をバランスよく効果的に援助し促進することを目指します。

家族による働きかけ

当室の特徴はご家族自身によるお子さんへの働きかけを助言・指導させていただくことです。これにはいくつかのメリットがあります。

お子さんは日々の生活の中で、養育者に促され励まされて、いろいろなことができるようになっていきます。例えば、「おいでおいで」という声かけで移動の範囲を広げ、「立った、立った」と大喜びされて歩き始めます。コミュニケーションも生活のあらゆる場面でまずは養育者との無数のやりとりを通して育まれます。「家族による働きかけ」は自然で合理的な方法です。

お子さんが最も長い時間を過ごすのは家庭です。お子さんに最も多くの働きかけをしているのは養育者です。生活の場における養育者による働きかけは、動機や機会、時間や回数という面で考えても、非常に強力な療育やり八ピリになりえます。

今日、親御さんの価値観や家庭のありようは様々です。療育や訓練を積極的に希望する場合でも、お考えや事情には幅があるでしょう。「家族による働きかけ」はご家族自身が働きかけのスタイルや内容を決めます。いろいろなニーズに対応できる自由度が高い形です。

主体的な取り組みだからこそ、子育ての喜びと自信を持てるのではないのでしょうか。親御さん自身もたくさんのお子さんのことを学んでいただけます。

お子さんへの働きかけが愛護的なものであるべきことはいうまでもありません。体調や機嫌を気遣ったり、心から励ましたり、なるべく楽しくできる工夫をしたり…。これについては養育者以上の適任者はいないでしょう。

強度を持つ療育やり八ピリは親御さんが障害を受容するのを遅らせるという批判があるかもしれません。当室はこの問題について真剣に考えてきました。当室のシステムをご検討ください。最初に詳しい説明をすること、プログラム指導の場合も半年ごとの更新であること、安心して「卒業」できることなど、この問題に関する十分な配慮をしています。お子さんに障害があるとわかったとき他人から「受容することが大切です」といわれて納得する親はいないでしょう。合理的であることや愛護的であることを前提として、「一歩でも発達や回復を進める」という選択肢があつてよいと思います。

対象とするお子さん

脳障害による学習上の困難を抱えるお子さんが対象となります。困難とは障害の程度や運動面、知性面を問いません。年齢に制限はありません。相談・指導例としては、脳性麻痺、白質軟化症、自閉症、広汎性発達障害、ダウン症(注1)、脳挫傷、低酸素脳症、インフルエンザ脳炎、遺伝的疾患による障害...など様々です(注2)。

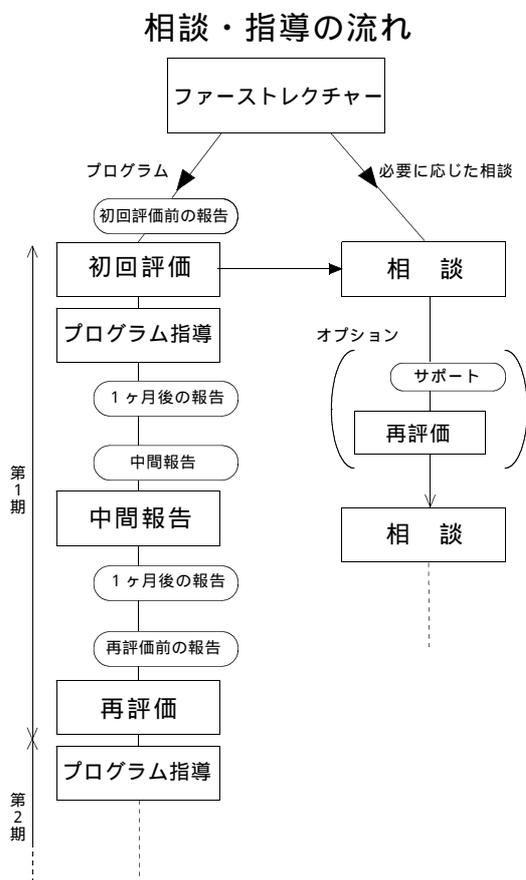
注1、ダウン症を脳障害にくくることには議論があるだろうと思います。当室は学習上困難を抱えるお子さんとし
て相談・プログラム指導を承っています。

注2、診断名はすべて他の医療機関によるものです。

システム

当室の相談・指導システムは、プログラムと同様に、長年の指導実践を通して形作ってきたものです。以下の3つのコンセプトを柱として、ひとこと言えば、ご家族にとって安心できるシステムを目指してきました。

- ・インフォームド・コンセントを大切にする。
- ・多様なニーズに対応できるようにする。
- ・アフターケアを充実させる。



ファーストレクチャー

ファーストレクチャー(第1回目のご相談)はご家族のお話を伺いながら適切な情報を提供する場です。ご家族の疑問や関心、お子さんの年齢や障害のありようなどに応じて、内容を柔軟に構成します。長年にわたり「家族による働きかけ」を追求してきた当室だからこそお話しできることがあります。今後の子育てに当室の知見をお役立てください。

必要に応じた相談

必要が生じた際にいつでもご相談いただけます。今後の課題や働きかけのアドバイスはもちろんのこと、就学や学校生活に関してなど幅広くご相談をお受けします。

オプションとして評価やサポートをつけることもできます。

プログラム

集中的に強く働きかけたいという場合はプログラムをご検討ください。通常、プログラム指導は6ヶ月を基本単位にしています。プログラムの継続を希望される場合、その6ヶ月の指導

単位を繰り返すこととなります。面接は3ヶ月に一度のペースですから(お子さんの参加が必須であるのは6ヶ月に一度)、遠方のご家族でも取り組んでいただけます。

プログラムが円滑に進むように、記録表を含めて各種の報告が設定されています。また、電話やメールによるサポートを随時受け付けます。その他、ご家族のリフレッシュのために長期のお休みも制度化されています。

アフターケア

当室はお子さんやご家族と、末永くおつき合いしたいと願っています。指導の終了後、所定の要件を満たしたご家族については「卒業生」として登録させていただき、各種のアフターサービスを提供します。年に一度フォローアップのお便りを差し上げるほか、その後のご相談を割引料金にてお受けします。当室にとりましてこのシステムはお子さんの予後に関する貴重な情報源になっています。

ファーストレクチャーのお申込み

1. 「ファーストレクチャー希望」とご連絡ください。お電話でもかまいませんが、メールやファックスで以下の項目についてお知らせいただければ幸いです。
 - ・お子さんのお名前(性別)
 - ・年齢(歳 ヶ月)
 - ・障害についての簡単な説明
 - ・相談の内容
 - ・電話番号および当室から電話(返事)するのに都合のよい時間帯 *携帯電話には対応していません。
 2. 当室からお電話し、ご相談の内容を確認させていただきます。お話しする内容の概略や予定時間を提案します(ここまでは無料です)。
 3. ご納得いただいた場合、日時(土日可)を設定します。
- 所要時間をご相談の内容により異なります。今後の働きかけやプログラムについてのご相談の場合、通常4時間(50分×4)を目安としてください。

内容には自信を持っておりますが、万一「期待外れ」「ニーズに合わない」というときは遠慮なくお申し出ください。直ちに打ち切らせていただきます。50分以内の場合、料金は頂戴しません。

* 遠方のご家族の場合

遠方のご家族もいらっしゃいますので、2日間に渡りファーストレクチャーと初回評価を設定することを承っています。この場合、1日目の面接をファーストレクチャーと初回評価を兼ねる内容で行います。ご家族はその晩に今後どうするかお決めください。2日目はそのお返事に基づいて1日目の続きを行います。プログラムを開始することもできますし、初回評価で打ち切って後日お返事いただくということでも結構です。

ご家族の負担を考慮した方法です。事前に十分打ち合わせをしますから、安心してお申し込みください。1泊2日ですむように、できる限り調整させていただきます。ただし、落ちついてお考えいただきたいということから、日帰りが可能である、コストなどの点で支障がないという場合は、通常の手順を踏まれることをおすすめします。

主宰者略歴

安達 啓 1955年生まれ

大阪大学人間科学部卒業 東京学芸大学大学院障害児教育修了

元騎手福永洋一氏のリハビリの助手を務めた後(1年)、米国・人間能力開発研究所(ドーマン研究所)にて研修(1年)

連絡先

K 学習相談室

〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台6-47-7

TEL/FAX 0466-43-8060

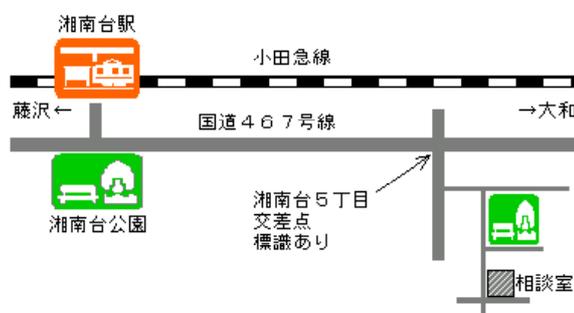
E-mail support@lc-k.org

交通

湘南台駅(小田急線・相鉄線・横浜市営地下鉄)東口Eから徒歩15分(タクシー基本料金)

国道467号線、湘南台5丁目交差点近く

東名町田IC・厚木ICから約14km 駐車場あり



料金のご説明

「相談・指導の流れ」(3頁)を参照してください。

<ファーストレクチャー>

5,000円/50分

<必要に応じた相談の場合>

相談 5,000円/50分

評価 30,000円(2回目以降20,000円)

サポート 5,000円/月

<プログラムの場合>

第1期 120,000円

第2期以降 90,000円

- ・プログラムは6ヶ月を指導単位としています。料金は6ヶ月間の総額です。第1期の内訳は初回評価30,000円、プログラム指導20,000円、中間報告20,000円、再評価20,000円、サポート5,000円/月×6です。入会金等はありません。第2期以降は第1期から初回評価の分を引いた額となります。
- ・ご家族の負担を少しでも軽くするために2回から6回の分割払いに応じています。手数料等はありません。
- ・指導を途中でやめること(中途解約)はいつでも可能です。その間の費用を精算の上、請求または返金します。

お問い合わせ

電話、ファックス、メールにてお気軽にお問い合わせください。

お預かりした個人情報を本人または家族の同意なしに外部に発表することはありません。また、後に勧誘の連絡をするということもありません。安心してお問い合わせください。

メールアドレス support@lc-k.org

電話とファックス 0466-43-8060

<お願いとお断り>

いつでもお電話いただけるように通常、留守番電話にしています。お名前・電話番号・メッセージを残してください。当室から速やかにご連絡いたします。留守番電話は苦手という方もいらっしゃるかもしれませんが、この方法が当室とご家族双方にとって好都合であることをご理解ください。ご都合のよい時間帯があれば遠慮なく指定してください。

*携帯電話には対応しておりません。

メモ